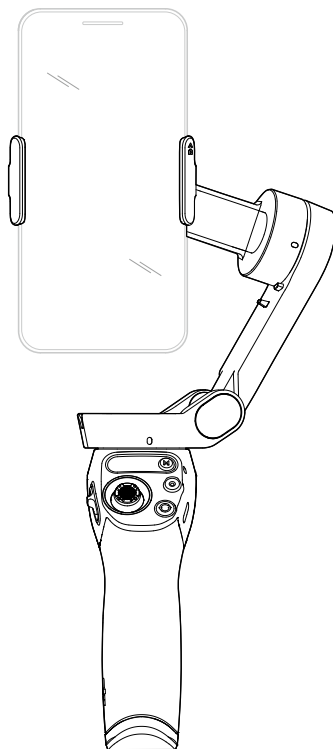


dji OSMO MOBILE SE

ユーザーマニュアル v1.0 2022.09



🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Readerを使用して本書をお読みの場合、WindowsではCtrl+F、MacではCommand+Fを押して検索を開始できます。

👉 トピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

🖨️ 本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

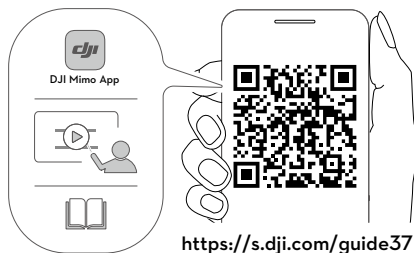
⚠️ 重要

💡 ヒントとコツ

ご使用前に

DJI™ OSMO™ Mobile SEをお使いになる前に、以下の資料をお読みください：

1. 安全ガイドライン
2. クイックスタートガイド
3. ユーザーマニュアル



DJI公式サイト (www.dji.com/osmo-mobile-se/video) またはDJI Mimoアプリですべてのチュートリアルビデオを視聴することをお勧めします。初めて使用する前に、安全に関するガイドラインとクイックスタートガイドをお読みください。詳細は、このユーザーマニュアルを参照してください。

DJI Mimoアプリのダウンロード

上記のQRコードをスキャンして、DJI Mimoアプリの最新版をダウンロードしてください。

⚠️ iOS版のDJI Mimoは、iOS v12.0以降で動作します。Android版のDJI Mimoは、Android v8.0以降で動作します。

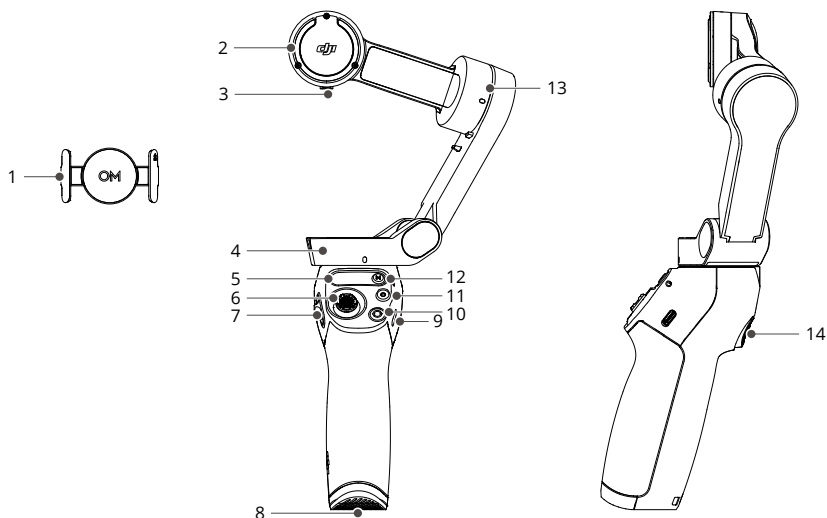
目次

本マニュアルの使用方法	2
凡例	2
ご使用前に	2
DJI Mimo アプリのダウンロード	2
はじめに	4
概要	4
準備	5
充電	5
スマートフォンの取り付け	5
Osmo Mobile SE の使用	7
搭載機能	7
操作モード	10
DJI Mimo アプリ	11
DJI Mimo アプリへの接続	12
カメラビュー	12
ファームウェア更新	16
更新方法	16
保管方法	16
仕様	17

はじめに

3軸スタビライザーを搭載した軽量のOsmo Mobile SEは、お使いのスマートフォンの可能性を最大限に引き出します。マグネット着脱式の折りたたみ設計により、今までにないほどセットアップが簡単になり、持ち運びや保管が一層便利になりました。Osmo Mobile SEは、ポートレート（縦位置撮影）とランドスケープ（横位置撮影）の両方のモードで操作可能で、さらにアップライト、吊り下げ、サイドグリップ、ローポジションモードにより、完璧なショットを撮影できます。ActiveTrack™ 5.0、DynamicZoom、パノラマなどの機能をDJI Mimoで使用すると、コンテンツ制作をネクストレベルへと押し上げます。ストーリーモード、タイムラプス、ショットガイドは、シーンに応じた撮影チュートリアルが手順ごとに表示され、SNSで共有したくなるような動画を作成できます。

概要



1. DJI OM 磁気スマートフォンクランプ（第三世代）
2. ロール軸モーター
3. M3×0.5ねじ穴
4. パン軸モーター
5. ステータスパネル
6. ジョイスティック
7. ズームスライダー

8. 1/4-20 UNCポート
9. 充電ポート (USB-C)
10. 切替ボタン
11. シャッター／録画ボタン
12. 電源／Mボタン
13. チルト軸モーター
14. トリガー

⚠ Osmo Mobile SEは、DJI OM 補助ライト内蔵スマートフォンクランプに対応し、それらのアクセサリはDJI ストアでご購入いただけます。

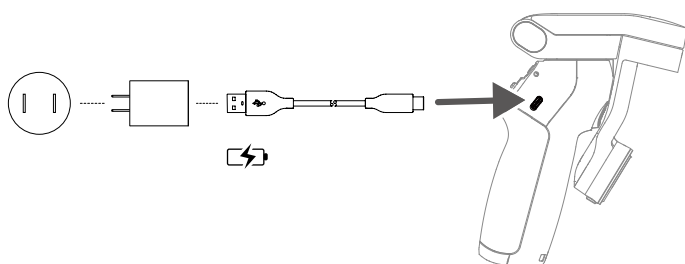
準備

充電

Osmo Mobile SEを充電するには、電源ケーブルを使用して、USBアダプター（非同梱）と充電ポートを接続してください。バッテリーが完全に充電されると、ステータスパネルのバッテリー残量インジケーターは消灯します。

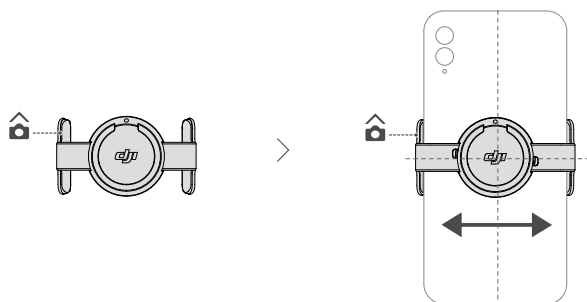
充電時間：約2時間12分（10 W充電器を使用し、環境温度 25℃の試験時）

最大稼働時間：約8時間（ジンバルのバランスが取れており、安定した状態での試験値で、あくまで参考の値です）

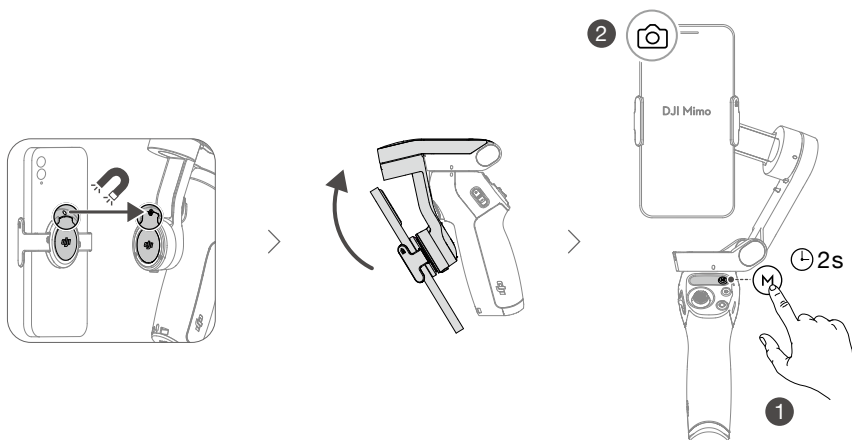


スマートフォンの取り付け

1. スマートフォンの中央位置にあうように、磁気スマートフォークランプを取り付けます。磁気スマートフォークランプはスマートフォンの幅に合わせて広げることができます。クランプ上のカメラマークに合わせて、その方向にスマートフォンのカメラが来るように取り付けてください。



2. スマートフォンクランプ上のマークと磁気クランプ装着部のマークを合わせた状態で、スマートフォンをOsmo Mobile SEに装着します。
3. 図のようにジンバルを展開してください。Mボタンを長押しして電源を入れます。ステータスパネルのジンバルモードインジケータが点灯するとOsmo Mobile SEは安定します。

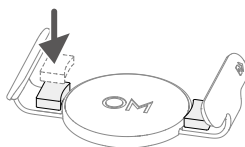


磁気スマートフォンクランプ取り付け時のコツ

磁気スマートフォンクランプの向きが上記の図と同一であることを確認してください。最適な性能を発揮するには、磁気スマートフォンクランプをスマートフォン中央部に取り付け、クランプのアーム間の距離が左右一緒になるようにします。



滑り止めパッドを使用すると、スマートフォンと磁気スマートフォンクランプをしっかりと固定できます。以下の図のように、滑り止めパッドを磁気スマートフォンクランプに取り付け、しっかりと押し付けます。



Osmo Mobile SEの使用

搭載機能

ステータスパネル

システムステータス インジケーター、バッテリー残量インジケーター、ジンバルモードが表示されます。

● システムステータス インジケーターの説明

点滅パターン	説明
黄色点灯	Bluetooth未接続
緑色点灯	Bluetooth接続状態
黄色または緑色に点滅	スタンバイモード
赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェア更新中／ファームウェア更新に失敗
赤色点灯	異常な状態を検出

🔋 バッテリー残量インジケーターの説明

点滅パターン	バッテリー残量
素早い赤色点滅	5%以下
赤色点灯	6%～19%
黄色点灯	20%～60%
緑色点灯	61%～100%

ジンバルモード

- 🌀 フォロー：パン&チルト軸フォロー。パンとチルトの両方の軸がグリップの動きに従います。上下の動きを含むシナリオや傾斜のあるシナリオに適しています。
- 🌀 チルトロック：パン軸のみフォロー。パン軸のみがグリップの動きに従います。アークショットや左右の動きの多いシナリオでの撮影に適しています。
- 🌀 FPV：パン、チルト、ロール軸フォロー。3つの軸全てがグリップの動きに従います。一人称視点での撮影に適しています。
- 🌀 スピンショット：パン、チルト、ロール軸をフォローします。ジョイスティックを使用して、ロール軸の回転を制御できます。スピンショットはカメラを360°回転させながら映像を撮影できるようにします。このモードはプッシュイン、プルアウト、ローアングルからの撮影などに最適です。



Mボタン

電源オフ時

ボタンを1回押す：バッテリー残量を確認
長押しする：電源をオン

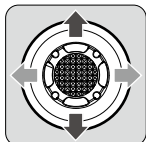
電源オン時

1回押す：ジンバルモードの切り替え
3回押す：スタンバイモードを開始。（終了するには任意のボタンを押します）
長押しする：電源をオフ。20秒間長押しで、強制電源オフ



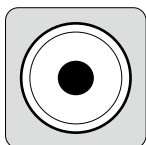
ズームスライダー

＋の方向にスライダーを動かすと被写体は拡大され、－の方向に動かすと被写体は縮小されます。スライダーを一回スライドすると、一段回ズームします。スライダーをスライドし続けると、連続的にズームします。



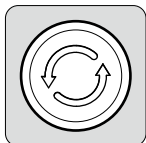
ジョイスティック

スマートフォンを水平方向に動かしてパンさせたり、垂直方向に動かしてチルトさせます。ジョイスティックの制御方向はDJI Mimoで設定できます。クイック設定ページでは、ジョイスティックで各設定に移動します。



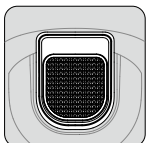
シャッター／録画ボタン

1回押す：写真を撮影するか、録画を開始または停止します。
長押し：バースト撮影をします（写真モード時）。



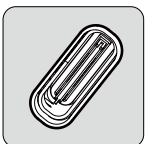
切替ボタン

1回押す：前面と背面のカメラを切り替えます。
2回押す：ランドスケープモード（横向き）とポートレートモード（縦向き）を切り替えます。
3回押す：写真モードと録画モードを切り替えます。この機能は、DJI Mimoのクイック設定で操作して設定できます。



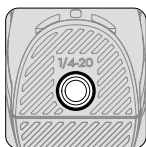
トリガー

1回押すと、ActiveTrack 5.0を起動または停止します（Mimoと併用する必要があります）。
2回押すと、ジンバルを再センタリングします。ActiveTrack 5.0を使用している場合は、ジンバルはカメラビューの中央に再センタリングされます。
1回押して長押しすると、フォロー速度を高速モードに調整し、離すと終了します。
長押しするとロックモードになります。ロックモードでは、ジンバルはハンドルの動きをフォローしません。離すとロックモードが終了します。

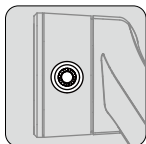


充電ポート (USB-C)

Osmo Mobile SEを充電するには、USBアダプターをこのポートに接続します。

**1/4-20 UNCポート**

1/4-20 UNCポートを使用して三脚を取り付けることができます。

**M3×0.5 ねじ穴**

カウンターウェイトを取り付けるために使用します。カメラレンズまたはマイクがスマートフォンに取り付けられている場合は、カウンターウェイトを使用してください。これらのアクセサリーの総重量は、290 g未満であることを確認してください。

組み合わせ操作

切替ボタン、シャッター／録画ボタン、トリガーを1秒以上同時に押すと、Bluetoothの名前と接続がリセットされ、再接続を行います。

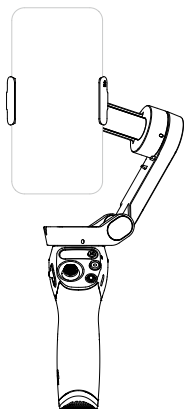
⚠ Osmo Mobile SEは、スタンバイモードで3分間無操作の場合、自動的に電源がオフになります。

操作モード

ポートレートモードやランドスケープモードで使用する場合に、操作モードが適用されます。

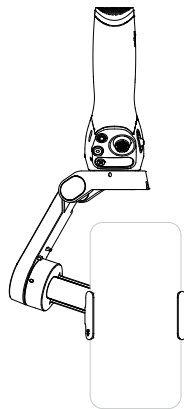
アップライトモード

アップライトモードは最初から使用できるモードです。このモードでスマートフォンをセンタリングするには、トリガーを素早く2回押してください。



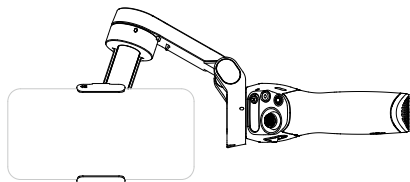
吊り下げモード

Osmo Mobile SEを逆さにすると、吊り下げモードになります。このモードでは、スマートフォンで低い位置からの映像を簡単に撮影できます。トリガーを2回押すと、スマートフォンが中央に配置されます。



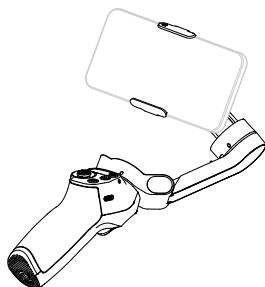
サイドグリップモード

Osmo Mobile SEを右または左に90°回転すると、アップライトモードからサイドグリップモードになります。トリガーを2回押すと、スマートフォンが中央に配置されます。



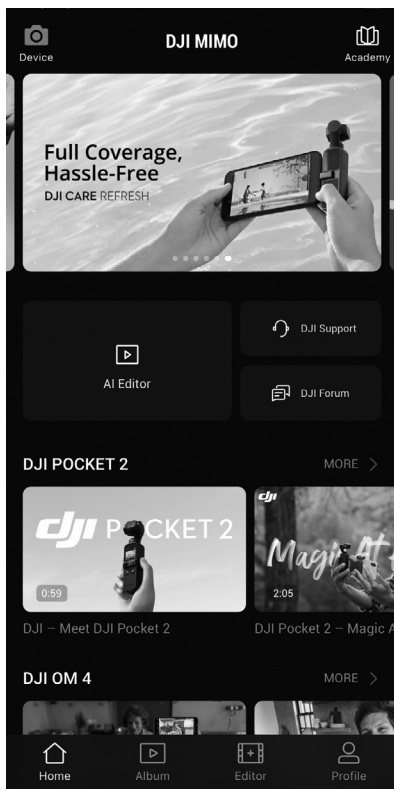
ローポジションモード

トリガーボタンを長押しし、Osmo Mobile SEを前方にチルトすると、ローポジションモードになります。チルト角が大きくなり、低い位置からの撮影に適しています。



DJI Mimoアプリ

DJI Mimoアプリを使用して、スマートフォンの画面でライブHD動画を確認できます。このアプリで、ショットガイド、ストーリーモード、ハイパーラプス、タイムラプス、ActiveTrack 5.0、DynamicZoom、パノラマなどを使用したり、カメラとジンバルの設定を数回タップするだけで変更したりできます。



 **デバイス**：タップするとOsmo Mobile SEに接続します。一旦接続すると、DJI Mimoはカメラビューに入ります。

 **アカデミー**：タップすると、チュートリアルやマニュアルを閲覧できます。ジンバルのQRコードをスキャンすると、アカデミーを直接閲覧することができます。

 **AI編集**：写真・動画編集用のテンプレートがあります。

 **ホーム**：タップすると、ホーム画面に戻ります。

 **アルバム**：スマートフォンまたは他のDJIデバイスからの映像を管理および表示します。

 **編集**：タップすると、Osmo Mobile SEを使って撮影した写真や動画を編集したり、モバイル端末からインポートして編集をしたりします。

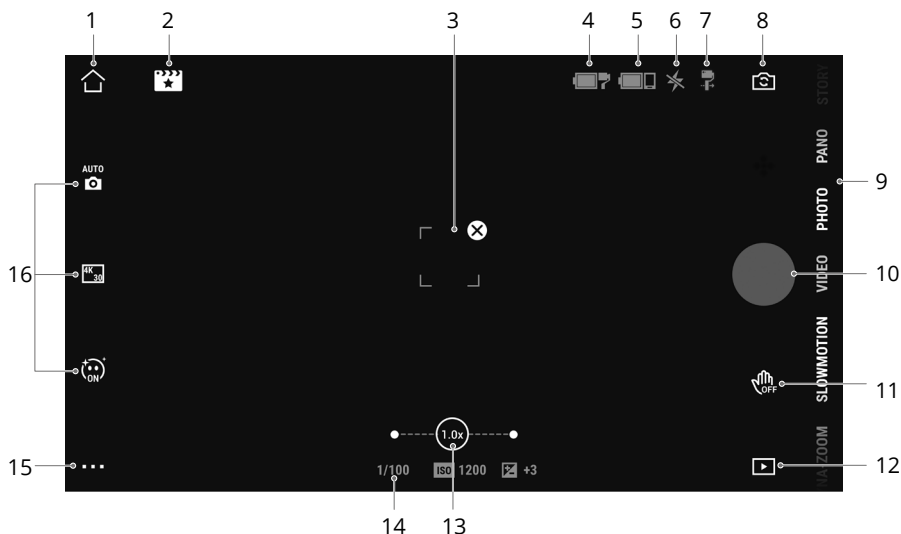
 **プロフィール**：DJIアカウントの登録やログインをします。設定アイコンをタップすると、詳細を設定できます。

DJI Mimoアプリへの接続

1. Osmo Mobile SEの電源を入れます。
2. スマートフォンでBluetoothを有効にし、DJI MimoのOMSE から始まる名前のデバイスに接続します。
3. DJI Mimoを初めて使用する際に、特定の情報へのアクセスを許可する必要があります。プロンプトにアクセス先に関する正確な情報がリスト表示されます。インターネット接続が必要となります。承認後にOsmo Mobile SEはアクティベーションされ、アプリはカメラレビュー表示になります。

⚠ Bluetoothで接続すると、Osmo Mobile SEは、DJI Mimoなしでスマートフォンのカメラを制御することが可能です。詳細については、対応スマートフォン一覧 (www.dji.com/osmo-mobile-se) を参照してください。

カメラビュー



1. ホーム

🏠 : タップするとホーム画面に戻ります。

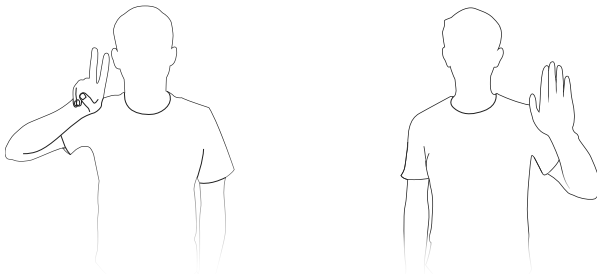
2. ショットガイド

★ : ショットガイド (ShotGuides) は、シナリオに応じた手順ごとの撮影チュートリアルを実行し、AI編集を使って動画を編集できます。

3. アクティブトラックの選択ボックス

⦿ : ActiveTrack 5.0は、被写体のトラッキングがより最適化されています。デフォルトでは、被写体は常にカメラビューの中央に配置されます。カメラビューは手動で調整できます。ActiveTrack 5.0を使用するには、以下の3つの方法があります：

- a. DJI Mimoのカメラビューで画面上をドラッグしてボックスを配置します。被写体の周囲に緑色のボックスが表示されている場合、ActiveTrack 5.0が正常に動作していることを示します。トラッキングを停止するには、上部の隅にある✕アイコンをタップしてください。
- b. DJI Mimoでジェスチャー操作👉を有効にし、[フォロー & 撮影]を選択し、カメラに向かって1～2秒間、手のひらを向けるかVサインのジェスチャーを行います。ジンバルはカメラに最も近い被写体をフォローします。ジンバルとジェスチャーとの間の検知範囲は0.5 m～4 mです。ActiveTrack 5.0は、スマートフォンの消費電力が増加し温度を上昇させる可能性があるため、ご注意ください。手のひらを向けるかVサインのジェスチャーを実行すると、録画が停止します。



- c. トリガーを1回押すと、ActiveTrack 5.0が開始または停止します。デフォルトでは、ジンバルは画面の中央で被写体をフォローします。ActiveTrack 5.0を使用中、ジョイスティックを動かすと、カメラビューを調整できます。

4. ジンバルのバッテリー残量

🔋: ジンバルの現在のバッテリー残量を表示します。

5. スマートフォンのバッテリー残量

🔋: スマートフォンの現在のバッテリー残量を表示します。

6. フラッシュ

✱: フラッシュの状態を表示します。

7. ジンバルモード

📷: 現在のジンバルモードを表示します。フォロー、チルトロック、FPV、スピンショット。

8. 前面／背面カメラスイッチ

📷: タップすると、スマートフォンの前面カメラと背面カメラを切り替えることができます。セルフイー、フォロー、美颜効果は、前面カメラへの切り替え時に自動的に有効になります。注: 4Kまたは60fpsで録画時は、美颜効果は利用できません。

9. 撮影モード

スクロールして撮影モードを選択します。

ハイパーラプス: スマートフォンを動かしながら、タイムラプス映像を撮影できます。シャッターボタンをタップすると、開始します。

タイムラプス: 4種類のタイムラプスがあります（固定角度、左から右へ、右から左へ、カスタムモーション）。タイムラプスを選択したら、画面上部の設定をタップしてください。固定角度、左から右へ、右から左へ、これらでタイムラプスを撮影する場合は、時間

と長さを設定した後、撮影を開始します。カスタムモーションの場合は、最大4箇所の撮影位置を選択してください。撮影を開始すると、ジンバルが設定した位置を順番で移動します。

DynamicZoom：ムーブアウトモードとムーブインモードから選択します。モードを選択したら、ドラッグして枠で被写体を選択し、シャッターボタンをタップして撮影を開始します。

スローモーション：4倍および8倍のスローモーションで動画を撮影します。詳細については対応スマートフォン一覧をご確認ください。

動画：通常の動画撮影になります。

写真：シャッターボタンをタップすると、シングル撮影で写真を撮影します。シャッターボタンを長押しするとバースト撮影をします。

パノラマ：3×3、240°、または分身パノラマ写真を撮影します。カメラは、9枚／7枚／3枚の写真を別々に撮影し、パノラマを生成します。

ストーリー：様々な動画を記録するテンプレートがあります。

10. シャッター／録画ボタン

●：タップすると、写真を撮影するか、動画の録画を開始／停止します。

11. ジェスチャー操作の切り替え

：タップすると、ジェスチャー操作の設定に移動します。

12. 再生

：タップすると、写真や動画をプレビューします。

13. ズーム

：現在のズーム率を表示します。2本の指を画面に置いて、広げる（ピンチアウト）とズームインし、狭める（ピンチイン）とズームアウトします。バーをスライドしても、ズームを調整できます。

14. 撮影パラメーター

1/100 ISO 80 0：シャッター速度、ISO、EV値を表示します（一部のスマートフォンは非対応）。

15. 設定・・・

：カメラ設定

撮影モードによって、設定が変わります。背面カメラを使用している場合のみ、フラッシュ、ホワイトバランス、グリッドの設定が使用可能です。iOSデバイスの場合、セルフイー反転表示は、写真モードおよび動画モードで前面カメラを使用している場合に使用できます。Androidデバイスの場合、セルフイー反転表示は写真モードでのみ使用できます。

：ジンバル設定

ジンバルモード：フォロー、チルトロック、FPV、スピンショットから選択します。

フォロー速度：高速、中速、低速のフォロー速度から選択します。

ジンバル自動キャリブレーション：周囲からの磁気干渉や人的エラーによるドリフトを低減します。キャリブレーションを行う前に、三脚を使用してOsmo Mobile SEを平らな面に置いてください。キャリブレーション中はジンバルに触れないでください。

ジンバルの水平調整：ジンバルを調整する前に、磁気スマートフォンクランプが水平であることを確認してください。

切替ボタン3回押し：写真撮影、録画、クイック設定への移動の機能が設定可能です。

ジョイスティック速度：タップしてジョイスティックを制御する際の最大速度を設定します。高速、中速、低速から選べます。

ジョイスティックの制御方向：フリーと水平/垂直から選択します。フリーは、ジンバルを水平方向と垂直方向に同時に制御できます。水平/垂直は、ジンバルを水平方向または垂直方向に制御できます。

ジョイスティック反転：この機能を有効にすると、ジンバルの動作方向が反転します。[オフ]、[水平]、[垂直]、[すべて]から選択します。[水平]を有効にするとパン軸動作方向が反転します。[垂直]を有効にするとチルト軸動作方向が反転します。

ピープ音：ジンバルのピープ音をオン/オフできます。

■：一般設定

デバイス管理、デバイス名、バージョン情報、デバイスのシリアル番号などの情報が含まれます。

16. 撮影パラメーターの設定

撮影パラメーターは、撮影モードに応じて設定できます。アイコンをタップすると、設定に移動します。

-
- ⚠
- ・ジェスチャー操作やActiveTrack 5.0 は以下のシナリオでは利用できません：
 - a. ジンバルモードが、FPVまたはスピンショットに設定されているとき。
 - b. ズーム倍率が3倍を超えているとき。
 - ・セルフィーやフォローは、以下のシナリオでは利用できません：
 - a. ジンバルモードが、FPVまたはスピンショットに設定されているとき。
 - b. ジェスチャー操作が有効になっているとき。
 - c. 前面カメラのズーム倍率が、3倍を超えているとき。
 - ・撮影パラメーター設定は、スマートフォンのモデルによって異なります。詳細については、対応スマートフォン一覧 (www.dji.com/osmo-mobile-se) を参照してください。
-

ファームウェア更新

DJI Mimoを使用して、Osmo Mobile SEのファームウェアを更新します。更新には、およそ3分かかります。

更新方法

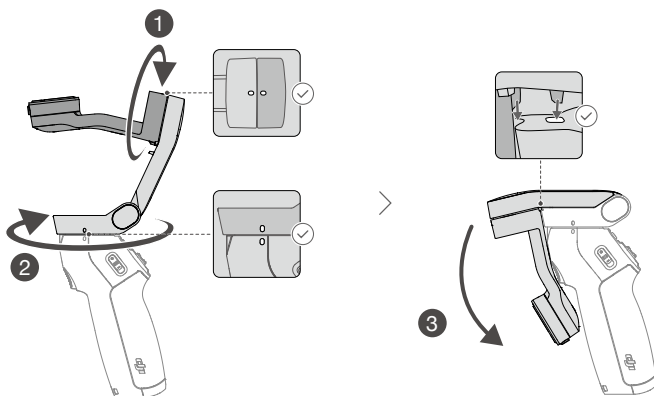
更新を開始する前に、バッテリー残量インジケーターが緑色か黄色で点灯していることを確認してください。Osmo Mobile SEをお手持ちのモバイル端末に接続し、DJI Mimoアプリを起動します。新しいファームウェア更新が利用できる場合、プロンプトが表示されます。更新を開始するには、モバイル端末をインターネットに接続し、画面の指示に従います。

ファームウェアの更新中は、DJI Mimoを終了しないでください。画面に表示されるプロンプトに注意してください。システムステータス インジケーターが緑色と赤色で交互に点滅し、ファームウェア更新が正常に完了すると緑色に点灯します。

更新が失敗した場合はDJI Mimoを再起動し、Bluetoothに再接続してから再試行してください。

保管方法

Osmo Mobile SEは、保管や持ち運びが簡単な折りたたみ設計です。電源を切った後は、Osmo Mobile SEを必ず折りたたむようにしてください。図のようにチルト軸とパン軸を回転して、ジンバルを折りたたみます。



仕様

一般	
ジンバル サイズ	展開時：262.5×119.5×104 mm（長さ×幅×高さ） 折りたたんだ状態：167×108.5×46.5 mm（長さ×幅×高さ）
重量	ジンバル：約352 g 磁気スマートフォンプランプ：約31 g
対応スマートフォン 重量	170～290 g
対応スマートフォン 厚さ	6.9～10 mm
対応スマートフォン 幅	67～84 mm
バッテリー	
種類	18650 Li-ion
材料	LiNiMnCoO2
容量	2600 mAh
電力量	9.36 Wh
電圧	2.75～4.2 V
充電温度範囲	5℃～40℃
動作環境温度	0℃～40℃
動作時間	約8時間（ジンバルのバランスが完全にとれた理想的な条件下で使用した場合）
充電時間	約2時間12分（10 W USB-C充電器を使用して測定）
ジンバル充電ポート	USB-C
電源出力ポート	なし
底面ポート	1/4-20 ねじ穴
ジンバル	
消費電力	1 W（ジンバルのバランスが完全にとれた理想的な条件下で使用した場合）
操作可能範囲	パン：-115°～115°
	ロール：-85°～160°
	チルト：-43°～53°
機械的可動範囲	パン：-161.2°～171.95°
	ロール：-136.7°～198°
	チルト：-106.54°～235.5°
最大操作速度	120°/s
無線モード	
モデル	Bluetooth 5.1
その他	
アプリ	DJI Mimo
グリップ式三脚	
サイズ	長さ：138 mm
	直径：32 mm
重量	約72 g

お問い合わせはコチラ



連絡先

DJI サポート



<https://www.dji.com/osmo-mobile-se/downloads>

本書についてご質問がある場合は、DJI（DocSupport@dji.com）までメール
でお問い合わせください。

Copyright © 2022 DJI All Rights Reserved.